

第2表（小）

学校名 清瀬市立清明小学校

2 指導の重点

（1） 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・地域の豊かな教育資源や人材を生かした学習活動を通して、主体的に学習に取り組む態度や自ら判断し行動できる力を養う。
- ・ICT活用研修等で指導法や教育用デジタルツールの使い方を共有し、主体的・対話的な学習や個別最適な学びをより一層進める。
- ・体力テストの結果を踏まえ、本校の課題である体力を高めるため、体づくりのOJTによる授業改善を行い体力向上を目指す。また運動の日常化を図るための環境を整える。
- ・指導方法工夫改善加配教員と連携した習熟度別少人数指導を3年生以上で、2学級3展開で実施する。高学年において教科担任制を実施し、密度の濃い教材研究や教師の専門性を発揮させて確かな学び、深い学びを育む。
- ・夏季の図書室開放を含め学校図書館活用計画を基に各教科で学校図書館の活用を行い、情報を活用し整理する力や問題解決能力、主体的に学ぶ力を育む。また、第3学年から第6学年で図書館を使った調べる学習コンクールに取り組む。
- ・学校支援本部や清瀬市コミュニティハウスと連携し、地域人材をゲストティーチャーとして招聘したり地域の教育資源を取り入れたりし、地域密着型の教育活動を実施する。
- ・各教科で身に付けた知識・技能を他教科でも活用できるよう教科の横断的なカリキュラムのESDカレンダーを活用した教科指導を行う。

イ 道徳科

- ・道徳科の授業を要とし教育活動全体を通し、一人一人の人権感覚を高め、互いの人格や生命を尊重する心情を育てる。
- ・問題解決的な学習、体験的な学習を取り入れ、考え議論する道徳の充実や自己の生き方の基盤となる道徳的価値観の形成を図る指導で道徳的心情や判断力を養い実践力を育てる。

ウ 外国語活動

- ・外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを味わわせるとともに、音声やリズムに慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地となる資質・能力を育成する。

エ 総合的な学習の時間

- ・持続可能な社会の構築の観点に基づいた「伝統文化教育」「環境教育」を柱に、地域や各教科等と連携した探究学習を行い、持続可能な社会に貢献できるよう読解力、分析力、考察力、説明力を育成する。

オ 特別活動

- ・学級活動、児童会活動、学校行事において、児童一人一人に目標をもたせ、集団の一員としての自覚を促す指導、自主的・実践的な活動場面の保障をすることで集団行動における望ましい態度を育てると共に、集団の一員としての所属感や連帯感を深めさせる。
- ・特別活動において第4学年でボッチャ体験を設定し障害者理解とスポーツ志向を進める。